

小学生の部

最優秀賞

神奈川県知事賞

2つの優しさ

伊勢原市立比々多小学校

六年 小笠原

清

私のお母さんは、リウマチと言う病気をもっています。リウマチと言う病気は関節が炎症をおこして、痛み、軟骨や骨が破壊されて関節の機能が損なわれてしまふ病気みたいですよ。母がふと私に辛かったときのことを話してくれました。私はそのとき一年生だったので痛みなどよく分かっていませんでしたが、今その話を聞くとよく分かりました。そのときに、和田さんと言う方が助けてくれたことを聞きました。いろんな人が母に「なにかあったら言ってくださいね。」と言ってくれたようですが、頼むのが申し訳なくて、一人で頑張っていたようです。ですが和田さんと言う方は、「今から買ひ物に行くのでついでに何か買ってきますよ。」

など細かなことまで言ってくれたので甘えられたそうです。私はそのとき思いました。「なにかあつたら言ってくださいね。」と言ってくれる人も、頼めないと思う母の気持ちも優しさからきていると思います。そこには壁ができています。私はそれを優しさの壁と呼ぶことにします。母が甘えられたのは和田さんが壁を壊してくれたからだと思います。壁を壊すということはどういうことなのか？きつとそれは、和田さんが母のことを心配して何が不自由なのか何が不便なのか和田さんの生活の中に母を入れて優しさを配ってくれたから壁を壊すことができたんだなと思いました。皆毎日自分の事で忙しいと思いますが和田さんのように誰かのことを思う時間を持つのはとても素敵なことだと思います。

これから私は和田さんのように壁を壊す優しさをするように意識していこうと思います。そして前に力になれなかつた分、母の力になっていこうと思います。